

# 県立多治見病院 緩和ケアチーム通信



発行：県立多治見病院 緩和ケアチーム VOL.31 2013年 10月号  
文責：大蔵 真子・市原 邦夫 編集：櫻田 亜矢子

こんにちは、医療相談室の大蔵です。

9月20日・21日に岩手県立大船渡病院へ災害チームのメンバーと一緒に緩和ケアチーム・医療連携の立場で視察研修に行ってきました。大船渡病院では約10年前から災害医療を検討しており、近隣の市町とも合同訓練を行っていたそうです。病院内には緑・黄・赤のトリアージエリアや災害時患者退出路が普段から表示されており、視覚化されていることに感心しました。

連携を進めていく上で、顔の見える関係が緩和ケアでは重要ですが、災害の時にも役に立ったのは日頃の業務からの「いつもの顔の見える関係」だそうです。他の医療機関や施設、地域との交流の大切さを改めて感じています。

在宅に帰る患者さんに、少しでも災害の場合は？という視点を頭に置きながら関わっていきたくと思いました。

こんにちは、緩和ケアチーム言語聴覚士の市原邦夫です。今回は私の所属しています当院リハビリテーション科について簡単に紹介させて頂こうと思います。

まず、当院はこの地域において急性期医療を担っております。ですからリハビリテーション科においても急性期リハビリに重点を置いて行っております。またそのエリアは多治見市をはじめとした東濃地方及び中濃東部地域と広域にまたがっており、年々対象となる疾患及び患者さまが増加傾向となっております。そのためリハビリテーション科も拡大しており、昨年にはリハビリ医1名が専従となり、理学療法士18名、作業療法士が6名、言語聴覚士が4名、総勢29名で当院リハビリを担っております。

その中は主に担当する疾患別に脳血管疾患等リハビリ担当、運動器リハビリ担当、内部障害リハビリ担当、そしてがん・緩和リハ担当と分かれており、私はがん・緩和リハ担当となっております。その対象となられる患者さまも年々増えている印象ですが、来月がんリハ研修会に当院スタッフ数名が参加する事が決まり、リハビリテーション科みんなでがん患者さまをサポートしていく環境が整いつつありますのでご安心ください。緩和ケアチームのみならず、リハビリテーション科としても、少しでもがん患者さまのお役にたてれば幸いと感じる今日この頃です。

## 第4回緩和ケア勉強会を行いました。

10月10日に第4回緩和ケア勉強会を行いました。在宅医療機関の活動紹介として、高井病院の医師、訪問看護師にお話しいただき、DVDで実際の活動を見せていただきました。緩和ケアチームからは、外来通院中のがん患者さんへのリハビリテーション、退院調整看護師と緩和ケア病棟との連携についてお話しいただきました。



## 第2回 緩和ケア講演会

## 11月の勉強会予定

日時：11月14日 18時～19時半

場所：中央診療本館3階講堂

内容：『在宅緩和ケアチームのケアの実際』

医療法人かがやき総合在宅医療クリニック 医師：市橋 亮一氏

在宅訪問管理栄養士：熊谷 琴美氏

医療法人かがやき訪問看護ステーションかがやき

訪問看護師：増井 法子氏

ご参加お待ちしております☆

